



着るカーテン



カーテンは私たちの生活空間に不可欠な存在である。
時代と社会の発展に伴い、人々は生活の質を向上させるため、
カーテンがただの飾り物から徐々に多機能な商品になっていった。
そして、素材によって遮光、断熱、防音といった機能を持つようになった。

子供時代に皆は鬼ごっこをして遊んだことがあり、いろいろな隠れ場所の中に、
カーテンもその一つではなかっただろうか。

カーテンは私たちの思い出と深く関わっていると言える。
もっと単純に考えれば、カーテンは布と糸の結晶であり、
私たちは服を着るようにカーテンも着れるのではないかと思いたった。



平面図において、空間を9等分した。中国の古代から、
「9」という数字は縁起がいいと認識されている。
「9」は「久」に関連し、「永遠」と繋がるよい文字である。
壁と天井はベージュ色の壁紙、
床は低彩度色のフローリングとし、
中心に天然木のテーブルを置き、
全体にナチュラルなテイストとする。

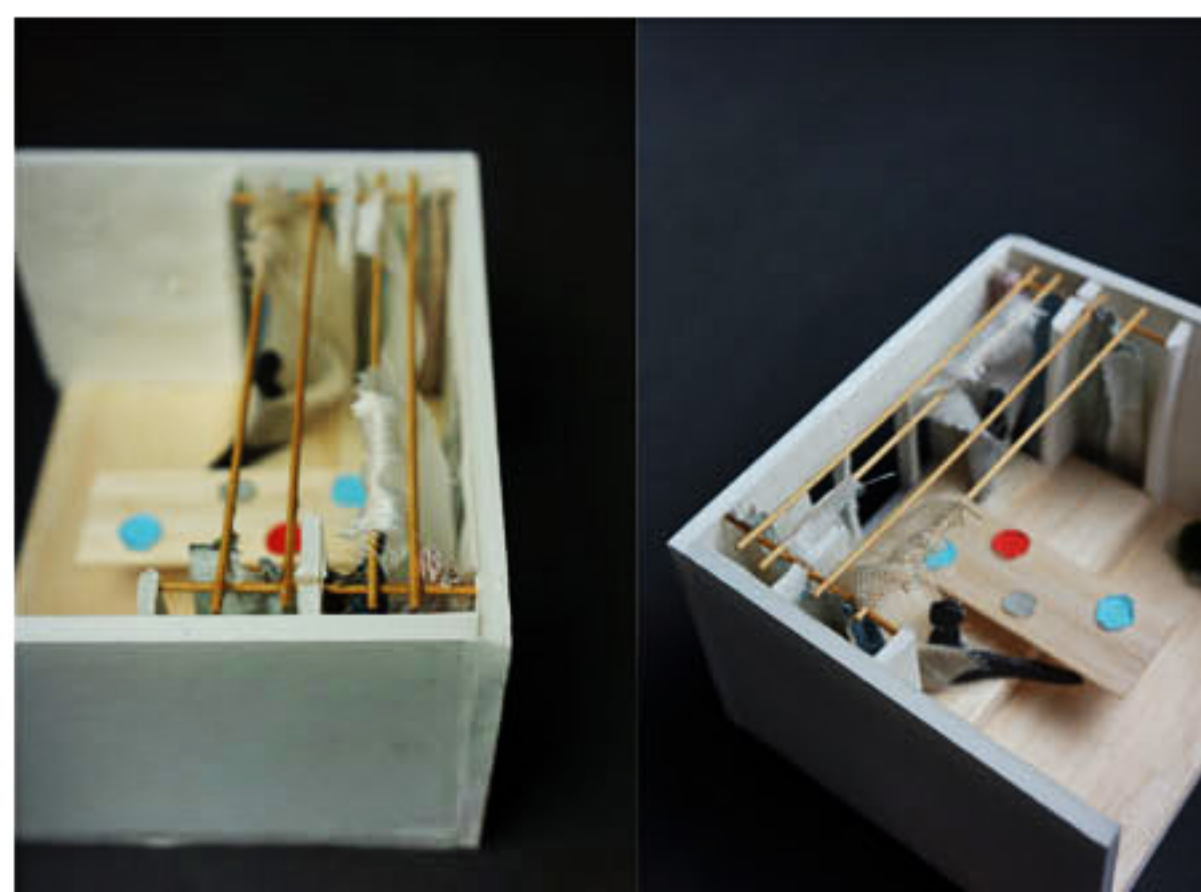
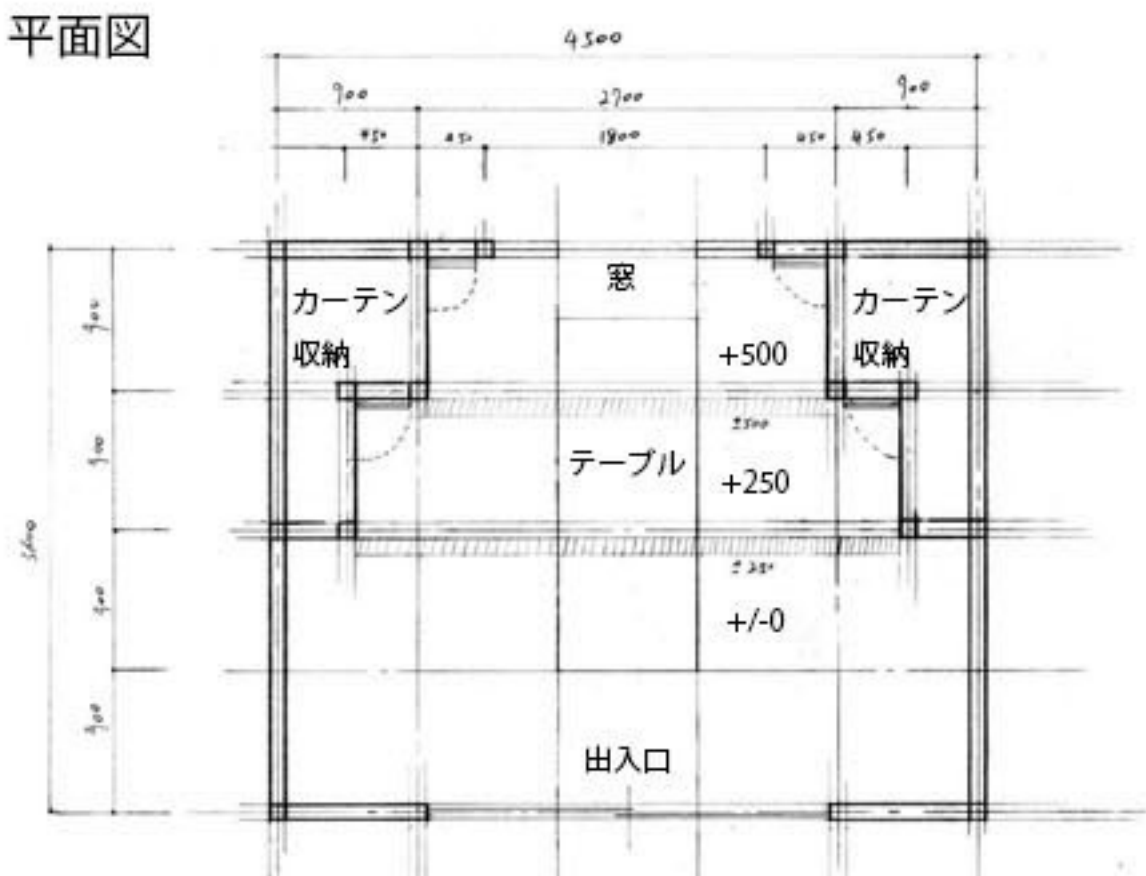
サンプル カーテン



レース オーガンジー 遮光 厚手

天井に4本のカーテンレールを取り付け、季節やシーン
によって異なる種類のカーテンを切り替える。
両側の袖壁にカーテンを収納するための空間を設けた。
手前には数種類のレースやオーガンジー、
奥には厚手や遮光などのカーテンを吊り下げる。

平面図



高さ250ミリの段差を2段作り、
テーブルの周りの床に座ることができる。